

いきいき同窓会 デジタル推進検討

1. 会報のデジタル化

- ・方法: HP をメインツールへ、SNS 活用、会員投稿促進、メールマガジン(新)
- ・効果: 情報発信頻度増加、会員との接点増加、コスト削減 (5 万円)
- ・対策: PC・スマホ操作が苦手な会員への支援、スキル向上機会提供
- *課題: HP の閲覧状況の把握と魅力ある内容にしていくこと (投稿者増加)
PC 未保有者の対応 (スマホでの閲覧・スキルアップサポート)

2. 会員名簿のデジタル化

- ・名簿項目追加: メールアドレス、所属同好会、イベント参加情報など
- ・会員納付: オンライン納付(ダイレクト・振込用紙)
- ・会員登録: 新規・更新時にメールアドレス必須、オンライン登録推奨
- ・活用: メールマガ配信(イベント案内、同好会勧誘)
- *課題: 新規加入者 (市民大学) の登録方法と会費徴収方法を検討する
継続会員の登録 (デジタル化/黒田氏提案) と会費徴収 (振込も検討)

3. デジタルリテラシーの向上

- ・必要環境: PC(Win11)、スマホ、Wi-Fi(自宅)、プリンター
- ・HP 活用: ブックマーク利用、PC・スマホ設定徹底
- ・コミュニケーション: 理事間でデータ共有促進、基本操作習得、セキュリティ遵守
- ・PC リテラシー向上: 出前講座: 各部向け講習会(希望者)、基本操作中心の 3 回講座
- *課題: 実施方法を具体化する (実行計画作成・広報)

4. ホームページ(WordPress)の管理

- ・現状: 容量限界 (3GB)、広告強制表示
- ・アップグレード: 容量増加(13GB)、広告なしプラン検討(13200 円/年払い)
- *課題: アップデートの実施、タイミング、支払いの仕方

5. データ管理

- ・大規模データ送信: ギガファイル便、send anyway 活用
- ・クラウドストレージ: Google Drive、pCloud Drive、Dropbox、OneDrive 比較検討
- ・管理方法: データ集約、USB メモリ制限、管理者権限、セキュリティ管理
- *課題: GoogleDrive 選択の根拠、管理方法、安全確保

6. 会議の方法

- ・部長会: 必要に応じて開催、ハイブリッド形式(対面+Online)、資料はデジタルデータ
- ・理事会: 年 6 回ハイブリッド形式、資料説明はプロジェクター、資料はデジタルデータ
- *課題: 運用方法の慣れが必要、デジタルスキルUP・その他会議の効率化

7. 予算案

- ・初期投資: プロジェクター(小型/携帯可能) 6 万円
- ・年間運営費: HP アップグレード費用(プレミアム) 13200 円/年
デジタルリテラシー向上セミナー費用、
クラウドストレージ利用料(200GB) 3800 円/年

8. スケジュール (案)

- 2 月: デジタル化計画発表 3 月: 会員名簿デジタル化開始
- 5 月: デジタルリテラシー向上セミナー実施 7 月: HP アップグレード
- 10 月: デジタル化進捗報告